

議 事 録

会議名	平成21年度第2回寒川町外部評価委員会		
日 時	平成22年2月5日（金） 午後6時00分から午後8時00分まで	開催形態	公開
場 所	議会第1会議室（寒川町役場3階）		
出席者	委員：金井委員（委員長）、宮内委員（副委員長）、 今井委員、小栗委員、本郷委員 （欠席者：なし） 事務局：木村企画政策部長、小島専任主幹、 樋口副主幹、小川主任主事		
議 題	1 外部評価を実施する事業について 2 今後の外部評価の進め方について その他		
決定事項	外部評価を実施する事業は次の6事業とする。 ①道路維持補修事業 ②環境基本計画推進事業 ③シルバー人材センター支援事業 ④企業誘致促進事業 ⑤町民相談事業 ⑥寒川駅北口地区土地区画整理事業		
開 会	（小島専任主幹） ＜配付資料の確認＞		
あいさつ	（金井委員長）遅い時間に集まっていただき感謝します。		
議 事	（金井委員長）本日は、外部評価をする事業の選定をします。 事務局から事前に資料が配付され、各委員において資料を見ていただいたと思うが、どういった観点でどの事業を評価したいかを順にお伺いしたいのですが。 （本郷委員）自分なりに6項目選定してきた。根拠としては特にこの事業を知っているわけではないが、自分としては事業規模を見ながら選定した。極端に大きいものは影響度が大きくなる。逆に小さい規模も外している。町民、地域に直結して		

いる事業をとらえた。体系コード1のものは「まちぐるみ美化運動等事業」、体系コード2は「緑化まつり開催事業」、体系コード3は「シルバー人材センター支援事業」、体系コード4は「学校開放事業」、体系コード5は「観光協会補助事業」を選定した。施策の推進は「町民相談事業」の6項目を選定してみた。

(金井委員長) 個々の事業の選定した理由は。

(本郷委員) 基本的には、事業規模を見ている。

(金井委員長) 今井委員さんはいかがですか。

(今井委員) 本当に必要だからやっている事業だと思うが、タイトル、事業内容からは明確にわからなかったため、具体的な項目は選んでいない。事業を選ぶ際は、長い期間続けられている古い事業をまず選び、そして事業費の大きなものを見るべきと考える。また、各項目から選ぶべきと考えている。

(金井委員長) 小栗委員さんはいかがですか。

(小栗委員) いわゆる箱物事業、今から作ろうとしているものや維持管理している事業を見ていきたい。その中で、金額の大きなものをと考え「健康福祉総合センター建設用地購入事業」を候補としたい。ソフト事業では、医療、福祉関係の事業を見てみたい。また、融資に関する事業を見たい。予算的にも大きいものでもある。融資をして焦げ付きがないのか、小口短期融資など町としての融資がどこまで有効なのかを見てみたい。

(宮内副委員長) 事業費から検討してみた。財源が足りないから何とかしてほしいという面があるのではないか。「道路維持補修事業」についてどういう状況なのか、道路の維持管理は昔は自分たちでやっていたものである。この事業がどういった方向性なのかを見てみたい。資源ゴミ分別推進事業は町民自らがやるということではないか。これに対し町が、2,100万円使っている。どういうものか見てみたい。ゴミ減量化推進事業についても同じである。防犯灯整備事業も昭和62年から続けているが、町がやるべきものなのか。自治会が自らになうべきではないかと思う。はり・灸・マッサージ治療扶助事業について、ここまで町でやっているのか、やるべきなのか。総合図書館運営事業が9千万円近くかかっている。本当に町民が使っているのか、これだけお金をかけ

るのなら町民に1冊ずつ本を買って配ってもいいのではないかとも思ってしまう。その必要性は何なのか。商店街街路灯整備等事業は、まちづくりとしてやっているのだろうが、昭和51年からやっている。議会放映事業について、本当に住民がホームページを閲覧しているのか議論をしてみたい。(金井委員長) いくつか選んでみたが、事業費で選んだので、あまりにも大きいものになってしまった。今年度だけではできないかもしれないが、来年度に継続になってもいいかと思っている。まず、相模川流域下水道建設事業は、町としてどこまで事業展開を進めるのかについて知りたい。次に、(仮称)健康福祉総合センター建設用地購入事業は、用地の購入なのでこの事業自体の中止等はないのだろうが、この建物が何をすところなのか、町民の考え方が反映されているのかどうなのかを見てみたい。町立保育園運営事業は、かなり高額なものなので民間への委託などの機運があるのかについて聞きたい。勤労者福利資金預託事業は、貸したものを返してもらふことによる財政の立て直しなどについて考えたい。(金井委員長) では、どのように選んでいくのかですが、皆さんのご意見の中に「もうやめたら」というものと、継続するが「改善を要する」といったものがある。この両方を偏らないように必ず入れていきたい。

体系コード1については道路維持補修、まちぐるみ美化運動、下水道関係事業の中から選びたいが。

(宮内副委員長) 下水道に関する事業については、相模川の流域下水道で、関連する市町での事業だと思う。町だけではなく地域で考えていくもの。どちらかというところ、町単独の事業としたほうが町にとって効果的な評価ができるのではないか。

(金井委員長) そうすると、道路維持補修とまちぐるみ美化運動になるが。

(宮内副委員長) 道路維持補修事業は、九州のある市や夕張市は職員や市民が行っている。そこまでの話はできないと思うが、時代とともに変わってきているはず。どういった見直しがされているのか。おそらく、請負業者を町で選び、指名競争入札で業者に任せているのであろうが、町が存続する限り町の道路はある。1億円という金額を要しているが、効果的

、効率的な運営ができているのか。地区によって、道路の状態はかなり違う。これだけの金額が大きなものは他にない。

また、まちぐるみ美化運動も、町民が直接実施しているものだが、金額の大きいもので考えたらどうか。

(金井委員長)ある程度大きな補修になると建設会社に入札でお願いするのであろうが、箇所付けに問題があるというものなのか。

(宮内副委員長)町のコスト意識がどうなのか、緊急性や計画がどのようにされているのかその辺を議論してみたい。

(木村部長)首長の姿勢もあるが、指名競争入札は基本的に行わず、一般競争入札を行っている。現在は外注が大多数。選定の基準等はあるが、そういった視点をもってご意見をいただくことも効果的と考える。

(金井委員長)路面の改良、アスファルトの敷き直し程度はこの予算なのか。

(小島専任主幹)舗装の敷き直しはこの予算である。

(金井委員長)歩道設置については別の事業か。

(小島専任主幹)別の事業である。

(本郷委員)資料の8番目の安全対策急施事業でも道路の補修があるようだが、これとは違って長期計画に基づくようなものなので、やってみたいと思います。

(金井委員長)体系コード1からは道路維持補修事業を実施します。次に、体系コード2ですが、資源ゴミ分別推進事業、ごみ減量化推進事業、緑化まつり開催事業が候補として出ている。

(宮内副委員長)緑化まつりについては、すでに見直しをされているように聞いているが、どうなのか。

(小島専任主幹)今年度の緊急財政対策の検討の中で検討し、22年度から苗木の無料配付をやめる予定としている。

(金井委員長)それにより予算はどのくらいとなるのか。

(小島専任主幹)22年度は1万円の予算となる予定である。この他に、緑化まつりには実行委員会に交付金として21年度230万円支払っていたが、22年度は120万円程になる。実行委員会ではイベント的なキャラクターショーなどを委託により実施している。

(金井委員長)ごみ減量化推進事業の内容はイベント的なもの

なのか。

(今井委員) 具体的に7番「資源ごみ分別推進事業」と8番「ごみ減量化推進事業」の違いがよくわからない。

(宮内副委員長) 生ゴミ処理機の販売はどちらの事業ですか。

(樋口副主幹) コンポストの販売はごみ減量化推進事業です。この他、イベントとして、不要品のリサイクルのフリーマーケットを実施している。

(金井委員長) ごみ収集袋の販売の収入はないのか。

(樋口副主幹) 記入漏れかもしれない。

(金井委員長) その収入で賄うことができているのかは、知りたいところですね。

(小島専任主幹) 資源ごみ分別推進事業は自治会にお願いしているもので、資源ごみの当番などに謝礼を支払っているものも含まれている。

(金井委員長) 体系コード2については後ほど検討することにして、体系コード3の選定をします。

候補として上がったのは、資料1の3ページから5ページにかけての1番(仮称)健康福祉総合センター建設用地購入事業、2番町立保育園運営事業、6番シルバー人材センター支援事業、8番防犯灯整備事業、20番はり・灸・マッサージ治療扶助事業、25番寒川町高齢者保健福祉計画見直し事業です。これだけ数があるので、消していきましょう。保育園については見直しの考えが担当課にあるかどうか、確認していただいて、来年度でも良いと考えています。

(宮内副委員長) 寒川町の保育園は委託ですよ。

(樋口副主幹) 町の3園の保育園は当初から業者に任せています。以前は業務委託であり、現在は、指定管理者制度による管理である。

次の可能性は、民営化であろうが、指定管理の期間があと3～4年あるのでその頃にどうするか議論がでてくるかもしれない。

(金井委員長) 委託による結果がこの金額であるなら、あまり評価するところではないのかもしれない。民営化になるようならその時は考える必要がある。

(宮内副委員長) 健康福祉総合センターはどうでしょう。これは、継続事業ですか。

(小島専任主幹) この事業は役場に隣接した土地を健康福祉総合センターを建設するために購入した事業である。現在は空き地で一部を駐車場として利用している。この事業費は借入れをして購入をしたため、返済金を計上しているものである。

(宮内副委員長) もう、購入しているものなのか。

(小島専任主幹) 購入済みである。

(宮内副委員長) センターの建設は、別の事業なのか。その事業を議論したい。

(小川主任主事) 建設事業は、別事業としてあるが、まだ検討段階なので、事業費0円となっている。

(金井委員長) 今のところの計画はどのような状況なのか。計画がかたまった状況で議論しても遅いかもかもしれない。

(小島専任主幹) 現在は、全くとっていいほど具体的な計画はない段階である。昨年、プロジェクトチームで検討し、施設のコンセプトはできている。

(金井委員長) その程度の段階で、土地を購入したのか。すごいですね。具体的に何を建てるかも決まらない段階で、買ってしまうのか。

(小島専任主幹) 建物の大きさなどは未定である。

(金井委員長) 土地の購入について、何かいきさつでもあるのか。

(木村部長) この土地は、以前、東邦チタニウムという会社の社宅があった。同社では社宅を取り壊し、建て直しをするという考えがあったが、場所、広さが適当ではないため、新たな場所を求めたいという意向であった。5年程前からであるが、そういった際は町が取得をしたいという希望があった。建物の規模等、具体的なものはまだだが、健康福祉総合センターのコンセプトを示し、議会にも説明をし、購入したものである。その中でもいろいろな議論はあった。この土地に当初、社宅ができる時も、当時の県議の力添えもあったことなどもあり、もし、売却するなら町にという同社の考えもあった。このため、今回は路線価や時価よりもかなり安い価格で購入することができたという経緯がある。

(金井委員長) 買っておこうという意向自体が強かったようですが、仮に「健康福祉総合センター」を建てることにしよう

ということなのでしょう。

(木村部長) 仮にではなく健康福祉総合センターを建設するための土地として購入したものです。

役場庁舎の建て替えがあったような場合は庁舎の機能の一部をその建物と併せて考えることもあろうかと思えます。

(宮内副委員長) 委員会としてお願いしたいのは、建設事業が事業として上がってくるときは本委員会に諮っていただき、我々の意見を反映していただきたいということである。

(金井委員長) 本年度は、この事業は評価しませんが、建設の際は評価を実施したいので、予約ではないが、よろしく願いします。

(宮内副委員長) 私が提案した、はり・灸・マッサージと防犯灯はいつでもできますので、取り下げます。

高齢者福祉計画策定事業は、私が委員として関わったものなのか。そうであれば、その年限りのものではないのか。

(小川主任主事) 数年に一度の計画見直しの事業であり、21年度に継続しているものではない。

(金井委員長) そうすると、残ったものとして、「シルバー人材センター支援事業」となりますが、いかがでしょうか。

(宮内副委員長) 高齢者の方に生きがいを与え、がんばっていただくための事業として、応援するようなものがあるといいと思います。内容を見てみないとよくわからないが。

(金井委員長) 提案の趣旨は、どのようなことですか。

(本郷委員) シルバー人材センター支援事業がどのようなことを実施しているのか、どのような活動をしているのかそのあたりを知りたいと思い提案した。金額もそれなりであったので、選んだ。

(金井委員長) では、体系コード3は「シルバー人材センター支援事業」とします。続いて、体系コード4ですが、1番総合図書館運営事業、16番学校開放事業の2つが候補としてあがっていますが、どうでしょうか。提案された方、いかがですか。

(本郷委員) 何か、この体系コードから選ぶとして、この事業の内容がよくわからなかったので選んだものです。積極的に選んだものではありません。

(金井委員長) そうすると、総合図書館運営事業ということに

なりますが、今、図書館をやめてしまうというような議論はできないので、マネジメント上の問題点などを話し合うようになろうかと思えます。

(樋口副主幹) 事務局からですが、総合図書館運営事業は、平成20年11月に事業仕分けを実施してその中で議論されたものであるため、どうかと思っています。

(金井委員長) 最初から教えていただければ良かったです。では、この事業をはずします。

そうすると、候補がなくなってしまいました。どうしましょうか。

予算的に小さいものが多かったので、選びにくかったのでしょうか。

(今井委員) 小さい金額で、教育関係が多いため、選びにくかったところである。あまり、小さいものばかりなら、除いて考えても良いのではないか。

(金井委員長) 金額の面からすると「スポーツ公園整備事業」くらいかと思うが。

(宮内副委員長) 学校の授業で使用する実験器具などの費用はこの項目の中にあるのか。相模原の学校では実験器具が各班にあったが、寒川ではクラスで1つの実験器具しかなかったということを知ったので、どうなのかな、と思った。子どもを育てるのならそれくらいの設備投資があっても良いと思う。

スポーツ公園整備事業は、田端の河川敷に造っているものか。

(小島専任主幹) そうです、今年度で事業が終了してしまうものである。

(金井委員長) そうすると、このスポーツ公園整備事業も難しいですね。では、この体系についてもあとにして、体系コード5についてですが、12ページの1、2、4の融資関係の事業、観光協会補助事業、商店街街路灯整備等事業があがっていますが。

(樋口副主幹) これら項目について、説明します。融資関係の事業ですが、町が勤労者や事業者に直接貸し付けているものはありません。金融機関に一定額を預け、その資金で金融機関が町民等に貸付を行い、年度末に預けた資金を金融機関か

ら返してもらおうという事業で、町として返済が滞るといったようなリスクが生じるものではありません。

(金井委員長) 中小企業の方が、お金が借りられなくて困っているときに町が金融機関に対して何か働きかけをするというような機会はないのですか。

(樋口副主幹) 金融機関の審査によって貸し付けるかどうかをその金融機関に任せているため、町が働きかけを行うようなことはないと思う。

(小栗委員) 1番と2番の勤労者福利資金預託事業、中小企業融資事業はそうであろうが、4番の小口短期融資資金貸付金は違うのではないか。

(金井委員長) 内容を確認していただけますか。

(樋口副主幹) 予算額を減らしてはいますが、商工会にお金を預けてそれでやっていただいているものです。

(金井委員長) 返済が滞った場合は、商工会がかぶっているのですか。

(宮内副委員長) 政策的に商工業者に対して融資の資金を商工会に預けることにより、商工業の振興を図っているものだと思います。商工会は金融機関と契約しているのではないかと思う。町が直接、貸し付けているものではないと思う。

(金井委員長) 町が個別に貸す、貸さないというものではないのですね。

3番目の商工会の補助事業は補助金を出しているだけなのか。

(樋口副主幹) 商工会に対する補助金だけの事業です。

(金井委員長) そうすると、残ったものとして、商店街街路灯整備等事業となりますが、いかがですか。

(宮内副委員長) この事業よりも、7番の企業誘致促進事業はどうでしょうか。委員に企業の方もおられるので、いかがですか。

(小栗委員) 何をやっているものかよくわからないのですが。

(本郷委員) 町にインターチェンジができることもあり、企業を誘致する事業はいいのではないですか。

(金井委員長) 企業誘致の方法として今の方法が良いのかなどを議論できると思いますので、この企業誘致促進事業を実施することにします。

続いて、体系コード0番ですが、4番の議会放映事業、9番の町民相談事業があがっています。

(宮内副委員長) 町民の生活相談などの事業は大切なことだと思います。ただ、139万円程度でどのようなことができているのかですね。

(金井委員長) 議会放映事業は素晴らしいことだと思います。議会監視活動をしていらっしゃる市民の方にとっては、委員会が傍聴できるか、資料がもらえるかどうかなど議会の情報公開を見ているようですが、議会放映を実施している地方公共団体は進んでいると評価されているようです。このため、撤廃するといったようなことは難しいことと思います。

(宮内副委員長) 本当にそのシステムを町民の方が期待しているのか。情報を求めるのであれば傍聴などの機会を使えばよいし、議会だよりにより情報を発信している。これにより、議会の皆さんが責務を果たしているのか、ということについて、我々は意見を言える立場であるのかは疑問がある。

(金井委員長) 顧客が違うので手を出しにくい面もあるかもしれないが、町から財政支出があるので可能かもしれない。

(宮内副委員長) 金額は小さいが、町民相談事業の内容について評価したらどうかと思う。本当に町民のための事業になっているかを見ていったらどうか。

(樋口副主幹) 議会放映事業は平成20年に始まったばかりの事業であり、初期投資にお金がかかっている。また、縮小等の話は現実的ではなくなってしまうと思う。

(金井委員長) 広報の配付事業はどうか。全戸配付を行うようだが、自治会、町内会での配付でどうなのか、疑問に思うことである。自治会の仕事をなくすことにより、無関心になってしまうのではいかと思う。

(小島専任主幹) 自治会からはそういったご意見も確かにあった。

(金井委員長) 町民相談事業はどうでしょう。

(宮内副委員長) 相談の機能を果たしているのか、やめたら誰が困るのかを議論することができると思う。

(小川主任主事) ここでは、4種類の相談事業がある。県で同等の事業を実施しているものもある。平塚の合同庁舎や県民センターでも相談事業がある。また、稼働率にも多い、少な

いがある。こういったところは議論できると思う。
(金井委員長)では、町民相談事業とすることにします。今までに決まったところは、次のとおりです。

体系コード1は道路維持補修事業

体系コード2は未定

体系コード3はシルバー人材センター支援事業

体系コード4は未定

体系コード5は企業誘致促進事業

体系コード0は町民相談事業

以上の4の事業である。

学童保育と放課後児童育成事業はどうですか。いま、見直しがされているようだが。

(樋口副主幹)放課後児童健全育成事業は事業仕分けを実施した。その中で学童保育との統合などについて意見をいただいたところである。この一覧表にないのは国か県から補助金等があるからだと思う。児童クラブについても国か県から補助金等があるため、この資料にはない。事業費が1,500万円程で国、県からの補助が500万円程、町の持ち出しは3分の2程度である。

(金井委員長)今回の外部評価は、国、県の補助があるものは複雑になるので、はずそうという考えなので、次回以降にします。4本でもいいでしょうか。

(宮内副委員長)評価の機会を与えていただいたので、各項目から選びましょう。

(金井委員長)では、体系コード2からはいかがですか。

13の環境基本計画推進事業はいかがでしょう。推進するために何をしているのか。環境報告書を作成するためだけ事業ですか。

(小島専任主幹)報告書自体は自前で作っていると思います。

(宮内副委員長)9番の処理困難物はどうですか。みんなが困っている不法投棄物の処理について1,000万円かけているがどうなのか。議論できると思うが。

(樋口副主幹)処理困難物処理事業は、事業仕分けを実施し、不法投棄自体を減らす方が大事だというような意見をいただいている。

(金井委員長)パトロール事業にお金を使うべきではないか、

ということですね。

(樋口副主幹)環境基本計画推進事業の事業シートに書かれている事業内容は審議会の会議を実施し、環境報告書を作成するといったこと程度で、これ以上の具体的なことは把握していません。

(金井委員長)環境対策についてお金を使うなというようなことは言いにくいですが、他になければ、この事業でいかがでしょうか。

では、体系コード2は環境基本計画推進事業とします。

次に、体系コード4ですが、先ほど今井委員さんからあったように、直接、将来に関わる学校教育に関することについて意見をするのはどうかということもありましたが、いかがですか。

(樋口副主幹)体系コード4の中で事業仕分けを実施した事業は、先ほどの総合図書館運営事業、少人数学級実施事業、公民館図書室運営事業、文書館運営事業、資料保存活用事業となっています。

(金井委員長)小栗委員さんの提案された箱物をやりたいと思うのですが、何かありますか。

(小栗委員)寒川駅の周りの整備事業は町のお金ではないのですか。

(小島専任主幹)国からのお金もあるが、町の投資もかなりの額である。また、借り入れもしている。

(宮内副委員長)一つくらい国庫や県費が入っているものがあるとしてもいいのではないのか。

(小栗委員)駅周辺の事業なら、わかりやすいのではないかと思うが、完成まであと、どのくらい期間はかかるのですか。

(金井委員長)私もその事業はやってみたいと思うが、この限られた時間の中でできるのかと考えると、どうかと思う。答えが出せずに、継続のような形になるかもしれない。

(樋口副主幹)あと2年くらいで完成する予定である。

(小川主任主事)20年度の事業費はおおむね11億9千万円で、そのうち4億8千万円が町費、2億5千万円が国県支出金、4億5千万円が町債、借入金である。

(小栗委員)どのように計画し、推進しているのかよくわからない事業である。

(宮内副委員長) 区画整理事業の難しさが出ている大変な事業だと思う。

(金井委員長) 区画整理により駅前をきれいにしたのに町が栄えないといったようなことが多いように思える。このようなことがあってはまずい。区画整理事業をすることによって効果があるのかを評価する必要はあると思う。

(小栗委員) 今は、駅前が広がって以前よりも閑散としているように思えるのだが。

(金井委員長) そういったことも現実にはあるようです。

(宮内副委員長) これからは公園整備がありますね。相当のお金をつぎ込んでいると思うが、例えば孫が生まれたら苗木を1本植える、結婚したら1本などといった形を考えることもできる。

(小栗委員) 一つくらい大きな金額の事業があってもいいのではないか。

(宮内副委員長) 検討して結論がでなくて、継続としてもいいのではないか。

(金井委員長) では、駅周辺の区画整理事業を体系コード4に変えて実施することとします。ただし、継続審議となることもあるということを実施します。静岡の方の駅前の区画整理事業で必要がなかったという判決が出た例もあるので検討してみましょう。

(宮内副委員長) 行政が関わっているものと、地権者が主体や業者施行のものがありますよね。

(金井委員長) 大きなものなので自治体施行だと思います。人口動態予測が適切でなかったということのようですが、寒川の人口動態の予測はどこがピークになっているのですか。

(小島専任主幹) 平成14年に作った総合計画書では平成30年をピークとしているが、現実とは離れてしまっている。

(金井委員長) 人口の伸び率はどうなっていますか。

(小島専任主幹) 横ばいです。町の3つの拠点を整備することにより人口が増えることを想定している。

(金井委員長) 計画の見直しはいつ頃ですか。

(小島専任主幹) 基本構想自体は2020年、平成32年までだが、今、後期基本計画の策定作業を始めている。

(木村部長) 今回の後期基本計画の策定の中では推計人口の見

<p>議事録承認委員の決定</p>	<p>直しもする。それにより、基本構想も変えざるを得ないかもしれない。</p> <p>(金井委員長) わかりました。今日の内容は以上でよろしいですか。</p> <p>(樋口副主幹) 事業を評価していただく際に事務事業評価シートの他に本日お配りした事業概要の説明書を各担当に記入してもらい当日の資料としたいと考えている。</p> <p>(金井委員長) 次回は、2月22日14時からとなりますが、実際の評価を行います。6事業分となるが、ここを聞きたいというようなことがあれば事前に出していただければ、事務局の方で対応していただけると思います。</p> <p>(樋口副主幹) 承知しました。</p> <p>(金井委員長)</p> <p>本日の議事録署名委員は、小栗委員にお願いします。長時間にわたり、ありがとうございました。</p>
<p>資料</p>	<p>資料1 事務事業一覧 (施策の方向別・事業費順)</p> <p>資料2 事務事業一覧 (施策の方向別・事業開始年度順)</p> <p>資料3 概要説明書 (外部評価用)</p> <p>資料4 概要説明書 (外部評価用) (例)</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>議事録承認委員 小栗 裕治 (平成22年2月18日確定)</p>